

レカロのスポーツシート最前線

ドイツのシートメーカー、レカロの「こだわり」は、果たして我々ユーザーにとって実際にどんなメリットをもたらしてくれるのだろうか？ 今回はスポーツシートを吟味した

特徴
ストリートスポーツ指向
2脚揃えたくなる価格

レカロのスポーツシートの代表格で、ロングセラーを誇るSR・III。その最終限定モデルが「アルティメイトエディション」だ。専用のロゴ刺繍やステッチ色、カミイとアルカンターラ、センターにシャイニングメッシュといった3つの生地を組み合わせたことによって付

加価値を高めているにもかかわらず、10万円を割る手頃なプライスが注目され、「それならば……」ということ

で、運転席と助手席、2脚とも換えるユーザーも少なくない。

ちなみにZ34フェアレディZで2脚ともアルティメイトエディション（助手席にはサイドサポートが低く、乗降性に優れたSR・VFを使用）に換えたバッテリーが上の写真。プラットフォームのキャビンに映えている。

乗
腰まわり中心ホールド
上体はリラックス！

取り付けにはレカロのベースフレームを使用。アイポイントは純正よりわずかに低くなった。SR3は腰のあたりや座面の横幅が狭く、大柄な人はそこを不満点として挙げるが、身長170cm足らず、胴囲70cm台後半の筆者にはサイドサポートが擦ることもなく、ジャストフィット。

腰を中心に十分なホールドが得られ、上体はリラックスして運転できる。強いて不満を挙げれば、個人背中から肩にかけての密着感が、後発のSR・6などに比べ、やや薄いことぐらいか。サイドのアルカンターラを含め、生地の肌触りはグッド！

バリューなベーシックモデルの最終限定版
SR-III Ultimate Edition

●価格：9万9750円



鮮やかな赤の刺繍による「Ultimate Edition」のロゴが入る。プレミアム感溢れる特徴

サイドには上質なアルカンターラが着られる。肌触りのよさと滑り止めに効果あり

Weight: 14.0kg

シート形状、レバーやダイヤルなどの機構に変更はなし。シルバーのステッチが施される



Z34での装着写真。着座ポイントはわずかに低くなった。純正に対する大幅な軽量化も得られる



編集部・塚本による試乗レポート。ホールドは腰周辺で稼ぐタイプ。上体をリラックスさせやすい形状といえる